

令和7年 2月3日発行

令和7年

2

February

No.609



広報

たらま

TARAMA VILLAGE PUBLICITY PAPERS

鬼はそと！ 福はうち！



the most beautiful
villages
in japan

多良間村は、39番目の
「日本で最も美しい村」
連合に加盟しています。



左上 幼稚園節分集会

右上・下中央 保育所節分集会

桜・ジョウビタキ(村立図書館前、2月上旬)

令和7年 二十歳を祝う式典

令和7年1月4日(土)、コミュニティー施設において令和7年二十歳を祝う式典が開催され、12名が参加した。

式典で伊良皆村長は「困難な状況に打ち勝ち、未来に明るい希望を持ち、力強くたくましい社会人になられることを願う。想いを新たに社会に羽ばたき、それぞれの進む道で笑顔を開かせることができるよう期待する」と式辞を述べた。福嶺常夫議長、池城三千雄教育長、青年団協議会久志勝一副会長から祝辞が贈られた。

新成人代表挨拶で豊見城花さんは「大人の一人として『人のために』『感謝と謙虚な気持ち

を忘れずに』の2つを意識しながら日々の生活を送りたい。今までの多くの方々との出会い、経験、愛情や応援を忘れずに目標に向かって走り続けていく。」と誓いの言葉を述べた。



自己紹介を行う二十歳を迎えた皆さん

令和7年 多良間村消防出初式

令和7年1月6日(月)、コミュニティー施設前において令和7年多良間村消防出初式が行われ、消防職員・団員、来賓者らが参加した。式の初めには辞令交付が行われ、新消防団長に亀山隆則さんが任命された。

式辞で伊良皆村長は「団員の皆様には地域防災の要として関係機関と力強い連携を図り、村民の生命と財産を守るためご尽力いただきたい。村としても村民の皆様が安全安心な暮らしを送ることができるよう、より一層防災

減災対策に取り組んでいく。」と述べた。その後、福嶺常夫議長、多良間駐在所の當眞将警部補から祝辞が贈られた。

1日消防団長を務めた島乃遥さんは「今後予想される自然災害や火災等に対応するためにも、日々の訓練はもちろん、村民各位のご協力が必要不可欠である。消防団員も組織の強化と訓練に励み、村治安維持の責任を果たしたい。」と答辞を述べた。

消防団員募集中！ お問い合わせ ☎79-2619 (多良間村消防事務所)



多良間村消防出初式 令和7年1月6日



答辞を述べる1日消防団長の島乃遥さん

岩手県宮古市から訪問団が来島しました！

令和7年1月7日（火）、岩手県宮古市から藤島洋介さんを団長とする小学生7名、中学生4名、引率2名の14名の訪問団が来島した。3泊4日の日程で多良間小、中学校に通い、製糖工場見学やシュノーケリングの体験も行った。

多良間島に到着した初日の7日は、たらびんや役場職員に迎えられた後、コミュニティー施設において対面式が行われた。伊良皆村長は「短い期間ですが気候、植物、生活文化など宮古市と多良間の違いを体験しながら、楽しい思い出を作ってください」と歓迎した。訪問団の皆さんは、「海に入って泳ぐこと、多良間村の歴史や文化に触れることが楽しみ」と

述べ、多良間島での体験交流を待ち望んでいた様子であった。

8日は学校で生活し、児童生徒間で交流が持たれた。9日は記念植樹や宮古製糖多良間工場の見学、宮古市の森でシュノーケリング、歓送迎会も行われた。

多良間村と宮古市は、江戸時代安政6年（1859年）に商船「善宝丸」の多良間島高穴海岸への座礁と救済をきっかけに、姉妹市村として児童生徒の体験交流学習をおこなっている。昨年12月には、多良間村の児童生徒12名が宮古市へ訪問している。



宮古市多良間訪問団対面式



「報恩之碑」前での集合写真

第39回 子ども駅伝大会

令和6年12月22日（日）、「スポーツを通して子ども達の体力の向上と、お互いに協力し、励ましあって最後までやり通す強い精神力を養う」を目的に、第39回子ども駅伝大会（主催：多良間村子ども会育成連絡協議会）が開催された。10区間11.1kmに7チーム（津川A、B、嶺間、大道、大木、吉川、子ども会連合チーム）が参加した。

大会結果

優 勝	大木チーム	44分55秒
準優勝	大道チーム	50分18秒
3 位	吉川チーム	52分27秒



スタートの合図と同時に走り出す
1区走者の皆さん



頑張れ！頑張れ！



優勝した大木チームの皆さん

小児・高校生・お体の不自由な方で航空機をご利用のみなさま

多良間村では、村内に住所がある方で、小児・高校生・お体の不自由な方(各航空会社の障がい者運賃の対象となる方)の航空機の利用代金に対して沖縄県離島住民等交通コスト負担軽減事業を活用し、一部代金の還付を行っております。手続きにつきましては下記のとおりです。対象路線及び還付金額につきましては別添一覧表を参照ください。

手続き方法

下記「必要なもの」をご準備の上、多良間村役場総務財政課窓口で申請書を記入し、提出してください。なお、申請は年度内に利用したものが対象となりますのでご注意ください。(令和6年4月1日～令和7年3月31日搭乗分)申請は令和7年3月31日までに行ってください。それ以外の期間のものは還付できません。

※本人若しくはご家族の方が申請してください。

手続きに必要なもの

- ①利用した方の離島カード
- ②チケット領収書(R6.4.1～R7.3.31搭乗分に限り)(対象路線・運賃種別・金額がわかるもの)
- ③搭乗券(搭乗したことが証明できるもの)
- ④振込先(還付金振り込み口座が確認できるもの)
- ⑤印鑑
- ⑥申請者の本人確認書類
- ⑦身体障がい者割引の場合は、それを証明する手帳等(身体障がい者手帳、戦傷病者手帳、療育手帳、精神障がい者保健福祉手帳)

※障がい者の割引及び還付請求は「航空会社が障がい者運賃の対象としている方」が対象です。あらかじめ航空会社へご確認ください。

お問い合わせ

多良間村役場 総務財政課

TEL:79-2011

※ご不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせください。

割引運賃等の還付金の対象者及び還付金額

単位:円

路線	航空会社	対象者	運賃種別(種別コード)	負担金額
1. 那覇＝宮古	JTA RAC	離島住民(小児)※3	(1) 離島割引(WKZ)	1,850
			(2) 小児普通運賃(CHZ)※	3,900
		離島住民(大人)	(3) 障がい者割引(HFZ)※	4,650
	ANA	離島住民(小児)※3	(1) 離島割引(WKZ)	1,200
			(2) 小児普通運賃(CHZ)※	3,900
		離島住民(大人)	(3) 障がい者割引(HFZ)※	4,650
2. 宮古＝石垣	RAC	離島住民(小児)※3	(1) 離島割引(WKZ)	1,200
			(2) 小児普通運賃(CHZ)※	2,600
		離島住民(大人)	(3) 障がい者割引(HFZ)※	3,100
	ANA	離島住民(小児)※3	(4) 離島割引(WKZ)	750
3. 多良間＝宮古	RAC	離島住民(小児)※4	(1) 離島割引(WKZ)	2,400
		離島住民(大人)	(2) 障がい者割引(HFZ)※	2,200
		離島出身高校生	(3) 特別往復割引(大人)(SRS)	600
		離島住民で障がい者割引(HFZ)対象者	(4) 特別往復割引(大人)(SRS)	150
4. 那覇＝下地島	SKY	離島住民(小児)※3	(1) 島民専用割引運賃	1,000
			(2) 小児普通運賃	3,600
		離島住民(大人)	(3) 身体障がい者割引	3,600
		離島住民で身体障がい者割引対象者	(4) 島民専用割引運賃	1,000
5. 石垣＝多良間	第一航空	離島住民 ※4	(1) 離島割引運賃(大人)	2,000
			(2) SPCL(大人)	1,500

※ 2023年4月1日～2023年4月11日に購入した運賃が対象

※2 2024年10月17日以降の発券及び2024年10月27日以降の搭乗から適用する。

※3 2025年1月1日以降の搭乗より適用。小学6年生までを対象とする。

※4 2025年1月1日以降の搭乗から適用。12歳の小学6年生を対象とする。

令和7年 多良間家畜市場初セリ 開催

令和7年1月19日(日)、JAおきなわ多良間家畜市場において令和7年初セリ市が行われ、子牛・成牛総計138頭が上場された。そのうち子牛の取引頭数は95頭で、メスが39頭 平均価格338,205円、去勢が56頭 平均価格481,607円、一番牛は1,005,000円となった。

主催者挨拶でJAおきなわの安谷屋行正代表理事専務は「昨年は円安等の影響で生産コストが高騰し、畜産経営環境は依然厳しいものである。」と述べ、今後も生産農家・行政と連携していくと述べた。来賓祝辞で伊良皆

光夫村長は「世界情勢が厳しいが令和7年は子牛価格が持ち直すことを願いたい。畜産農家の皆さんは日頃の牛の飼育管理、改良をしていただき、購買者の好む子牛生産に励むようお願いする。」と述べた。



祝辞を述べる伊良皆光夫村長

全国農業共済組合連合会より感謝状



全国農業共済組合連合会より感謝状が贈られた

令和7年1月21日(火)、役場村長室において感謝状の贈呈式が行われた。農業経営収入保険制度の保険料などを助成し、加入促進に貢献したとして、全国農業共済組合連合会より感謝状が贈られた。伝達式では、NOSAI沖縄の東風平正明さんより伊良皆村長に感謝状が手渡された。

多良間地区さとうきび生産組合 沖縄県農林漁業賞を受賞

令和7年1月18日(土)に那覇市奥武山公園で開催した「花と食のフェスティバル2025」において沖縄県農林漁業賞表彰式が開かれ、農産部門で多良間地区さとうきび生産組合(高江洲昭男組合長)が受賞した。沖縄県農林漁業賞は、農林漁業の経営改善、技術の近代化及び協業化の推進等で成果をあげ、農林漁家の模範となる実績をおさめた個人や団体に贈られる賞。今回、多良間地区さとうきび生産組合は、エコファーマーとして環境保全型農業に取り組み、パッケージにエコファーマー

マークを使用したエコ黒糖の有利販売に繋げ、全国へPRしたことで表彰された。

28日(火)には役場村長室において表彰の報告が行われ、高江洲昭男組合長から伊良皆村長へ受賞の報告がおこなわれた。



沖縄県農林漁業賞の受賞を報告した高江洲昭男組合長(右)と伊良皆村長

令和7年多良間村子ども議会 開会

令和7年1月21日(火)、村議会議場において子ども議会が開かれ、中学校1年生11名が議員として登壇し村の課題に対して質問、提案を述べた。子ども議会は、未来を担う子ども達の地域の課題や産業等の活性化について自ら考えたことの発信や、地方自治への興味関心を高め、将来社会で生きていくための力を育てることを目的としている。



議員として登壇する中学校1年生の皆さん

質問・提案

空き家の利活用(リノベーション等)について	外間優雅 さん
ウェディングフォトについて	知念蓮耶 さん
SNSを活用した観光振興の達成状況や今後の取り組みについて	名嘉真藍夢 さん
元テニス場跡地の利用について	比嘉悠真 さん
高齢者へのセニアカーレンタル支援や自動運転カートについて	古屋敷秀有斗 さん
特産品の新商品開発、黒糖を用いた土産品の開発について	島袋さくら さん
助産師の常駐について	松川葉月 さん
猫のTNR(Trap捕獲・Neuter不妊手術・Return元の場所に戻す)活動について	松川莉緒 さん
ヤギ製品の開発、普及について	與那嶺琉華 さん
多良間産食材を使用した特産品、料理の提供方法について	湧川惺穂 さん
海洋ごみの回収・撤去、活用について	波平琉球 さん

特別障害者手当及び障害児福祉手当

	特別障害者手当	障害児福祉手当
対 象	精神又は身体に著しく重度の障害を有するため、日常生活において常時特別の介護を必要とする状態にある在宅の20歳以上の方	精神又は身体に重度の障害を有するため、日常生活において常時の介護を必要とする状態にある在宅の20歳未満の方
支給額	月額28,840円	月額15,690円
支給制限	● 病院等に長期入院している方(特別障害者手当のみ) ● 施設に入所している方 ● 受給者もしくはその配偶者又は扶養義務者の前年の所得が一定の額以上であるとき	

※毎年2月、5月、8月、11月に、それぞれの前月分までを支給します。

※認定基準に基づく審査の結果、該当しない場合があります。

問い合わせ先

多良間村住民福祉課 TEL: 0980-79-2623 FAX: 0980-79-2664
宮古福祉事務所福祉班 TEL: 0980-72-3771 FAX: 0980-73-2131

第15回移動展 in 多良間村

令和7年1月24日(金)から3日間、コミュニティ施設において沖縄県立博物館・美術館による『第15回移動展 in 多良間村』が開催され、403名が来場した。多良間村での移動展は38年ぶりで、動物の剥製や化石、絵画など沖縄の自然・歴史・文化・美術についての貴重な

収蔵資料が展示された。天体望遠鏡で惑星や星の観察をし宇宙の広がりを感じる「ほしぞら観察会」や島内の地層・岩石から島の長い歴史を探る「ジオツアー」、万国津梁の鐘のオーナメントづくり等のイベントも行われた。



天体望遠鏡を覗いて惑星を観察する参加者の皆さん



移動展はプロバクトロサウルス、マンモス、プロトケラトプスがお出迎え

あっきーの協力隊OG日記

皆様、こんにちは。地域おこし協力隊OGのあっきーです♪

さすがに冬らしくしつかりと寒くなってきましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、今日は「日本で最も美しい村連合」の町村同士の交流についてお話をしたいと思います。協力隊時代から連合に関わるお仕事をさせて頂き、その延長で現在は、他の加盟町村の皆様とコラボをしながら町村交流を図る活動に力を入れています。

実は、連合のお仕事をしていて関係で各地の町村長の皆様とも親しくさせて頂いている私。昨年、「北海道鶴居村」の村長さんより直接ご連絡(！)があり、「鶴居村の美味しいアイスクリームを多良間の子どもたちに贈りたい」と、素敵なお申し出を頂きました♪頂いてばかりではと、こちらからは黒糖をお送りすることが決まり、その流れで次年

度の「小・中学校のオンライン交流授業」の実施も決定しました！遠く離れた北海道と沖縄の子どもたちが、どのような交流をするのか、今から私もとてもワクワクしています。小・中学校の教職員の皆様にも多大なるご協力を頂いており、感謝してもしきれません。

話はそれだけにとどまらず。鶴居村には私の友人のシェフが住んでおり、無理を言って頼み込んだところ、「多良間×鶴居」の食材を使った給食のレシピを作って頂けることになりました！詳細は今から打ち合わせをしていきますが、子どもたちの喜ぶ顔を見るために、私も一所懸命頑張りたいと思います☆



国民年金保険料学生納付特例制度のご案内

平良年金事務所よりお知らせです。

日本国内にお住まいの20歳以上60歳未満の学生・農林漁業者・自営業者・無職の方等（第1号被保険者）は、国民年金に加入し、保険料を納付することが義務付けられています。

学生の方で、納付が難しい場合は本人の前年所得が一定額以下の場合に、保険料の納付が猶予される『学生納付特例制度』がございますので是非ご活用ください。

「学生納付特例」と「未納」のちがい

	納 付	学生納付特例	未 納
老齢・障害・老齢基礎年金の 受給資格期間に含まれるか	○ (含まれる)	○ (含まれる)	× (含まれない)
老齢基礎年金の 年金額の計算に含まれるか	○ (含まれる)	× (含まれない)	× (含まれない)

＜必要な書類＞

※国民年金保険料学生納付特例申請書

※在学期間がわかる学生証のコピー（裏面に有効期限、学年、入学年月日の記載がある場合は裏面のコピーを含む）または在学証明書（原本）

＜申請書のご提出先＞

※町役場の国民年金担当窓口、または年金事務所（郵送も可能）です。

※マイナンバーカードで、マイナポータルを利用して電子申請ができます。

手続き及び申請方法はこれから

マイナポータル 検索

<https://myna.go.jp>



電子申請の概要は日本年金機構
ホームページをご覧ください。

国民年金 電子申請 検索

https://www.nenkin.go.jp/tokusetsu/denshi_kokunen.html



◎保険料を納めたときに比べ、将来受け取る老齢基礎年金の年金額が少なくなります。
ただし、将来受け取る年金額を増やすために10年以内であれば学生納付特例を受けた期間の保険料をさかのぼって納めることができる「追納制度」があります。

お問い合わせ

平良年金事務所 国民年金課 ☎ 72-3650（自動音声②→②） 多良間村役場住民福祉課 ☎ 79-2623

国家公務員採用試験のお知らせ

■国家公務員採用総合職試験（院卒者、大卒程度試験）		■国家公務員採用総合職試験（大卒程度試験（教養区分））	
受付時間	※インターネット 2月3日(月)～2月25日(火)	受付時間	※インターネット 8月1日(金)～8月25日(月)
■国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）		■国家公務員採用一般職試験（高卒者、社会人（係員級）試験）	
受付時間	※インターネット 2月20日(木)～3月24日(月)	受付時間	※インターネット 6月13日(金)～6月25日(水)

★ 受験資格などについては、下記にお問い合わせください。

問い合わせ先：人事院沖縄事務所 調査課 試験担当 ☎ (098)834-8400

★ 人事院ホームページもご参照ください。

[国家公務員試験採用情報 NAVI] <https://www.jinji.go.jp/saiyo/siken.html>



国民年金からのお知らせ

老年齢金を受給されている皆様へ

令和6年分の公的年金等の源泉徴収票を1月中旬から下旬にかけて日本年金機構より送付します。この源泉徴収票は、令和6年中にお支払いした公的年金の金額を記載した書類で、確定申告を行う際に必要となりますので、お手元に届きましたら大切に保管いただくようお願いします。

※障害年金、遺族年金及び年金生活者支援給付金は、課税対象ではないため、源泉徴収票は送付しません。

万が一、紛失等により源泉徴収票の再交付が必要な方は、下記のいずれかの方法で申請をしてください。

	申請の窓口	手続き方法	再交付までの日数	再交付の方法
オンライン	ねんきんネット ※スマホやパソコンでマイナポータルから「ねんきんネット」にログインして24時間いつでも手続きが可能です。不明な点は、日本年金機構のホームページをご確認ください。	「通知書の再交付申請」 ⇒「公的年金等の源泉徴収票」 ※「電子送付」を選択した場合	電子送付まで 3～5営業日	電子データを スマホやPC に送付します
		「通知書の再交付申請」 ⇒「公的年金等の源泉徴収票」 ※「郵送」を選択した場合	発送まで 1週間程度	紙を郵送
電話の場	平良年金事務所 ☎0980-72-3650 (自動音声①→②)	基礎年金番号の分かるものをご用意いただき、「源泉徴収票の再交付希望」とお伝えください。ご本人の住所に郵送します。	発送まで 3営業日程度	紙を郵送

現在、普天間線において、水道管の布設工事を実施しています。村民の皆様には、大変ご迷惑をお掛けしますが、ご理解・ご協力をお願いします。

さて、以前にも書いた内容にはなりますが、改めて、今回の工事との関連でお話しします。現在、工事を行っている管を配水管(本管ともいう)と呼びます。そして、そこから分岐して、各家庭などへ引き込む管を、給水管といいます。給水管から水道メーターまでの部分を、『一次側』と呼びます。この一次側と呼ばれる部分が、水道事業者(多良間村)の管轄になり、村の予算で工事を実施します。

それに対して、水道メーターから内側(利用者の側)を二次側と呼びます。この部分については、利用者が、利用者の負担で工事を実施しなければなりません。

役場へは、この二次側のことについても、よくお問い合わせを頂きます。村民の中には、状況が分からず問合せをする方もいますので、出向いて調査し、水道工事事業者へ取り次いで工事(修理)して頂く、ということになります。



水道担当 清村

令和7年 新年初め職員会

令和7年1月6日(月)、役場2階会議室において令和7年新年初めの職員会が行われた。伊良皆村長は「変化が激しく先行きが不透明な現代社会の中で、私たちが目指す行政職員像は“今と向き合い、将来を見据え、未来に思いを馳せる”ことができる職員である。新年にあたり『至誠通天(誠実に取り組むことで必ず願いはかなう)』『至誠一貫(常に相手の立場に立って真心を尽くす)』を今一度肝に銘じておきたい。」と述べた。



令和7年新年初めの職員会

令和7年2月

村長の たうけー むぬゆむ



かつてないほどの社会が変化する現代は、不確実性と複雑性に満ち溢れています。AIやロボットなどのテクノロジーの発展は、私たちの生活様式や仕事のあり方を変革し続け、同時に多くの課題を突きつけています。

このような変化が激しく、先行きが不透明な現代社会は、VUCA(ブーカ)時代と呼ばれています。VUCA時代とは、現代社会を特徴つける4つの要素の頭文字を取った造語だと言われます。Volatility(ヴォラティリティ)(変動制)：変化のスピードが速く予測困難。Uncertainty(アンサータンティー)(不確実性)：将来の予測が困難。Complexity(コムプレキシティ)(複雑性)：問題や状況が複雑。Ambiguity(アンビグエィティ)(曖昧性)：何が

正しいのか判断が難しい。これらの要素が複雑に絡み合い、将来の予測が困難な時代を指しています。

しかし、どのような時代であっても、行政の停滞は許されません。自治体の長はどのような方法で地域を良くしていくかを、住民に説明し実行していくことで、その役割を果たす必要があります。ただ、丁寧に説明してもすべての方々に理解され評価されることには限りがあります。それは、生活している環境や時間の自由度、健康であるかどうか、それらを含めた様々な経験から生まれる、価値観や人生観が皆違うからです。進路を示すことで、その方向を望まない人たちに批判されることもあります。それはすべてリーダーが背負う当然のリスクであり、試

練であると考えます。

私たちが目指す行政職員象は、「今と向き合い、将来を見据え、未来に思いを馳せる」ことができる職員であります。今と向き合うことは、苦しみや悲しみを取り除くことであり、将来を見据えることは、地域が生き残っていくための方向を示すこと、未来に思いを馳せることは、次世代に渡すものを真剣に探し残すことであると考えます。人口減少社会にあつて起こりうる、様々な問題や課題を解決するには、もはや行政の力だけでは難しい時代となりました。危機意識を共有できるすべての方々と一緒に行動し、その結果に責任を持つ、これは今、すべての行政職員に求められていることであると思います。

「しんせいつうてん至誠通天」「しんせいつく至誠一貫」という言葉があります。私自身を含め、皆さんは何事も誠実に取り組んでいますか？と伺いたい。「至誠通天」とは、誠を貫けば天にも通じる。つまり、誠実に取り組んで努力すれば必ず願いは叶うという吉田松陰の言葉です。「至誠一貫」とは、常に相手の立場に立つて、

まごころを尽くす。最初から最後まで誠意をもって貫き通すという意味の孟子の言葉です。「至誠」とは、誠を尽くす(貫く)ということです。仕事はもちろんですが、家庭においても勉強においても、最後まで真面目に取り組むという心構えが必要です。生半可な気持ちで取り組めば、失敗するリスクを伴い、一緒に取り組んでいる周りの人からも信頼されなくなります。やるからには一生懸命に最後まで真面目に取り組む。できそうではないのが世の常ですが、途中で諦めたり投げ出したリせず、最後まで誠を貫く、大切な心構えだと思います。已年に当たり、自分自身に対して今一度肝に銘じておきたいものです。

これまで先人の方々が築き上げた歴史や財産をはじめ多くの地域資源を、今を生きる私たちがしっかりと受け継ぎ生かしていくことが大切です。そしてこれから生まれ育つ子ども達へ、自信をもって引き継いでいくことで、多良間村が将来にわたり誰もが幸せを感じられる村になると考えます。

(新年初めの職員へのあいさつより)

令和7年度 貸与奨学生の募集について

1.募集期間:令和7年4月1日(火)～令和7年5月9日(金)必着

2.対象:

- (1) 沖縄県内に住所を有する者の子弟で、国内の大学、大学院、高等専門学校若しくは専修学校(専門課程)に在学する者(令和7年4月1日現在)
- (2) 沖縄県出身海外移住者の子弟で主たる住所を海外に有し、県内の大学若しくは大学院に在学する者(令和7年4月1日現在)
- (3) 学業、人物ともに優秀であるが経済的理由により修学に困難があると認められる者
※その他詳しくは募集要項、ホームページ等でご確認ください。

3.採用予定数:大学84人程度、大学院9人程度、高等専門学校 若干名、専修学校(専門課程)14人程度、沖縄県出身海外移住者子弟 若干名

4.問い合わせ先:(公財)沖縄県国際交流・人材育成財団 奨学課

☎(098)942-9213

<http://www.oihf.or.jp/>



世帯数と人口

(令和6年12月末現在)

総世帯数		544 (1)	
総人口		1,040 (0)	
男	577	女	463
区 別	人 口	世 帯 数	
土 原	66 (0)	38 (0)	
天 川	81 (0)	48 (0)	
津 川	91 (-2)	48 (0)	
宮 良	66 (0)	32 (0)	
嶺 間	146 (0)	67 (0)	
大 道	180 (3)	100 (2)	
大 木	255 (-2)	121 (-1)	
吉 川	151 (1)	87 (0)	
水 納	4 (0)	3 (0)	
出 生	0	死 亡	1
転 入	4	転 出	3

()内は前月比

緊急ダイヤル

火災・救急 ワンクッションコール	119 番
警察官派出所	(79-2010) 110 番
急病人／多良間診療所	79-2101
歯科診療所	79-2162
停電／沖縄電力多良間電業所	79-2147
断水／役場住民福祉課	79-2623
断水／水道担当	090-1179-5449
家畜疾病／役場産業経済課	79-2503
ガス専用／JA 多良間	090-6859-2355

12月 救急車・ヘリ搬送件数

救急車出動 …2件 ヘリ搬送 …3件

※緊急の場合以外診療時間内での受診を心がけよう

編集後記

- 2025年が始まり1か月が経ちました。皆様いかがお過ごしでしょうか。
- 岩手県宮古市からの訪問団が1月7日から3泊4日の日程で来島しました。受け入れ家庭との対面式では多良間に来たばかりで緊張した面持ちであった宮古市の皆さんでしたが、最終日は「多良間の皆と離れたくない!」という感情、様子が見られました。姉妹市村の相互交流は子ども達の視野を広げる経験になると思いますし、将来、島外へ出る際の希望や目標としても良い影響を受けられるのではないかなと思います。私も一度は宮古市に行きたいなと思いました。
- 今月も広報誌へご協力頂いた皆様、ありがとうございました。

(大城)

県内初、多良間地域の抱護が日本農業遺産に認定

～琉球王国時代の「抱護(ポーグ)」が育む多良間島の持続的島嶼農業システム～

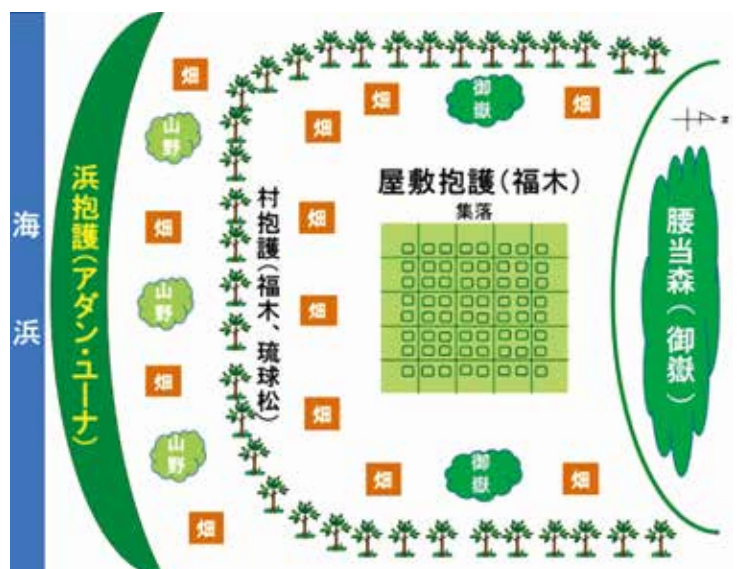


▲日本農業遺産に認定された多良間島の抱護と集落景観。集落をフクギの屋敷林と村抱護と御嶽が囲み、さらに島全体を浜抱護が囲繞する典型的な風水ランドスケープとなっている。背後地は腰当森(クサティムイ)と呼ばれ、御嶽や墓地群の林帯が集落を守っている。

2月28日、農林水産省で 日本農業遺産認定証授与式

同遺産への認定を記念して式典が開催される。認定証授与、写真撮影、認定地域(4地域)からの代表者あいさつ、プレゼンテーション、サイドイベント(特産品コーナー)等が行われる。

一次審査、現地審査、二次審査を得ての認定であるが、世界農業遺産等専門家会議からの評価の一例として「抱護によって育まれる循環型農業や、独特のランドスケープ、生物多様性、地域資源利用が、持続的農業システムとして一体的なストーリーで説明されている。日本国内にとどまらず、世界に誇れるシステムとして高いポテンシャルを有している」との評価があった。3月号に授賞等の特集を取り上げる予定。(来間)



▲高い評価を受けた、多良間島だけに残る風水集落の一般的形態のモデル図
[作成: 仲間 勇栄 (琉球大学名誉教授)]